

助成年度：平成 21 年度

[所属] 筑波大学大学院 生命環境科学研究科

[役職] 准教授

[氏名] 遠藤 崇浩

[課題]

## Environmental Water Account の研究

—生態系に配慮した水配分制度の確立に向けて—

[内容]

動植物保護への関心を背景に、米国カリフォルニア州では生態系への水配分という課題が他に先駆けて顕在化している。本研究ではその解決策として考案された環境用水口座という制度に焦点を合わせ、その仕組み・長所・短所他の関連政策との関係を明らかにした。

生態系への水配分は外部経済を伴うため、フリーライダー問題の発生により、人々の自発的活動を通じて十分に確保されない可能性がある。環境用水口座とは政府がその徴税能力を活かし生態系向けの水を買い取る仕組みであり、上記フリーライド問題を回避できる点が長所である。だが、買取量が自然変動量に較べるとごくわずかなため効果が限定的だった。本研究では、生態系向け水配分の確保にあたっては、他にも最低流量の設定、水利権の許認可条件の変更、instream flow water right の創出といった政策があることを指摘し、環境用水口座はこれら複合的な対応策の一部として位置付けられると結論づけた。